

# 「春花秋実」

校長通信6号 長田 芳子

本日終業式を行い、平成二十七年度も締めくくりとなります。私にとってこの一年は、各方面において、多くの方々から蓼高に寄せる熱い思いと応援を強く感じる事ができた一年でした。感謝の気持ちでいっぱいです。応援は力になります。反省することもあり、それは教訓として生かし前に向かって歩んで行きたいと思っています。次年度も、一日一日を大切に、一步一步進んでいきましょう。さて、入学当初、一年生は中学校と大きく環境が変化する中で、高校生としての取り組み、振る舞いが求められました。自覚し行動できた人もいましたが、自分本位の人もありました。良好な人間関係を築くために必要なことは、自分がされて嫌な行動はしない、嫌な言葉は言わないという、他者を思いやることです。期待しています。二年生は、いよいよ最終学年の三年生です。すでに生徒会執行部としての活動も始まり、学校の中心を担ってまわっています。部活動も最後の大会、最後の発表と高校生活のまとめを悔いのないようにしなければいけません。個人としても、いよいよ進路に向けて具体的な方向を自分の意志で決定する時です。時間は限られています。自ら積極的に行動することを期待しています。待っているだけでは何事も始まりません。自分の運命を決めるのは自分自身ですから。

## ☆立科町学校合同コンサート開催 2016.2.21 (日)

上田市文化会館セレスホールにおいて午後1時より「第8回立科町学校合同コンサート」が開催されました。開会セレモニーのあと、立科小学校合唱クラブの児童による合唱からスタート。心を合わせての合唱の、天使のような澄んだ歌声に感激しました。続いて立科中学校の吹奏楽部、立科小学校の管楽器クラブの演奏があり、音楽の楽しさや魅力が会場中に広がり、いよいよ本校ジャズクラブ「JAZZ☆CANDY」の登場です。曲が進むにつれ観客の皆さんが、手拍子と共に自然と身体をスイングするといった会場が一体となった素晴らしい演奏でした。ラストには演奏者全員での「上を向いて歩こう」のコーボステージ。ジャズクラブの伴奏と齋藤先生（顧問）の指揮で立科町の音楽に関わる皆さんと一緒に声を合わせて歌う、心震える立科町ならではの合同コンサートに感動を頂いた一日でした。

